

令和7年度(2025年度)第2回

吹田市地域包括支援センター運営協議会

資料

吹田市福祉部高齢福祉室

令和8年(2026年)2月3日(火)開催

令和 7 年度(2025 年度)第2回吹田市地域包括支援センター運営協議会資料

目次

1	地域密着型サービスの整備について	1
2	地域密着型サービス及び指定介護予防支援の指定等について	4
3	介護保険特別会計における令和 6 年度(2024 年度)の地域支援事業決算について	
	(1)介護予防・日常生活支援総合事業関係	5
	(2)地域包括支援センター運営関係等	6
	(3)令和 6 年度(2024 年度)委託型地域包括支援センター収支決算書	7
4	令和 7 年度吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について	
	(1)吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について	9
	(2)評価指標	10
	(3)評価結果	14
	(4)地域包括支援センター アンケート結果	31
5	令和 7 年度(2025 年度)上半期 地域包括支援センター業務報告	
	(1)総合相談支援業務関係	
	ア センター別総合相談件数	37
	イ 総合相談内訳	38
	ウ 各種サービス等受付件数	39
	エ 総合相談事例	40
	(2)各地域包括支援センターの活動報告	46

1 地域密着型サービスの整備について

(1) 地域密着型サービスの整備と募集

地域密着型サービスとは、ひとり暮らしの方や認知症の方をはじめ、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、平成18年に創設された介護保険サービスで、地域の特性に応じた柔軟な体制で提供され、利用者はその事業所がある自治体の住民に限定されるものとなっています。

本市におきましては、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする第9期吹田健やか年輪プラン（吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）において必要整備数を定め、地域密着型サービス事業者の募集を行い、整備を進めています。

今年度は、第9期計画で未だ整備が決まっていない認知症高齢者グループホーム1か所（2ユニット）を募集しましたが、応募する事業者がありませんでした。

(2) 地域密着型サービスの必要整備数等

項目	サービス名		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）	認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
ア	第9期必要整備数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
イ	優先する整備圏域	千里山・佐井寺又は山田・千里丘	千里NT・万博・阪大	山田・千里丘又は千里NT・万博・阪大	千里山・佐井寺又は山田・千里丘	
ウ		地域密着型サービスの整備にあたっては、サービスの提供がされることを優先するため、必ずしも圏域にこだわらず、全市域での柔軟な整備に努めます。上記圏域での整備の場合は、選定にあたり加点します。				
エ	定員数（ユニット数）	1施設あたり3ユニットまで（1ユニット：5～9人）	1施設あたり2ユニットまで（1ユニット：5～6人）			
オ	R6選定数	1か所	0か所	1か所	1か所	
カ	R7整備数	0か所 ※R6選定事業者が辞退	0か所	0か所 ※R6選定事業者が辞退	1か所	
キ	整備残数	1か所	1か所	1か所	0か所	

(3) 事前協議対象者の辞退

令和7年12月8日付けで認知症高齢者グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護の事前協議対象者となっていた社会福祉法人愛燦燦から資金調達を理由に辞退届が提出されました。

	サービス名（カッコ内は定員数等）	事前協議対象者名	整備圏域
ア	認知症高齢者グループホーム（27名、3ユニット）	社会福祉法人愛燦燦	千里NT・万博・阪大
イ	看護小規模多機能型居宅介護（宿泊定員9名）		

(4) 整備状況（令和7年10月1日現在）

- ア サービス整備圏域別 地域密着型サービス整備状況 - 別紙1
- イ サービス整備圏域別 施設・居住系サービス等の整備状況 - 別紙2

サービス整備圏域別 地域密着型サービスの整備状況

別紙 1

令和8年（2026年）1月1日現在

サービス整備 圏域	状況	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護（小規模特別 養護老人ホーム）	認知症対応型共同生活介護（認 知症高齢者グループホーム）	小規模多機能型 居宅介護	看護小規模多機能型 居宅介護	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	認知症対応型通所介護	夜間対応型 訪問介護
JR以南	開設済	ハビネスさんあいNext きさく苑吹田 寿 ハビネスさんあい		ハビネスさんあい				
	開設準備・協議中							
片山・岸部	開設済		ヴィラコティ岸部 市立岸部中 愛の家グループホーム吹田	豊津の郷 ハナニガエイ フリーゲスター吹田 健都	メルヴェイエ吹田 なでしこ吹田	ハナニガエイ フリーゲスター吹田健都	吹田竜ヶ池 ハナニガエイ フリーゲスター吹田健都	
	開設準備・協議中							
豊津・江坂・ 南吹田	開設済		エコ吹田 やすらぎ 明日葉 鶴～江坂～	ハナニガエイ フリーゲスター吹田 江坂町		SOMPOケア吹田定期巡回	エバーグリーン	
	開設準備・協議中							
千里山・佐井 寺	開設済		めいの家 里（みちのり）	千里の郷 楽（このむ）			寿楽荘竹谷生活リハビリハウス	
	開設準備・協議中							
山田・千里丘	開設済		たんぼぼ ここから南千里	メヌホット千里丘 ハナニガエイ フリーゲスター吹田 山田西			いのこの里	
	開設準備・協議中							
千里NT・万 博・阪大	開設済	スローライフ千里 はるる 鶴～北千里～ アリス佐竹台	スローライフ千里 たのしい家南千里 高寿古江台 鶴～北千里～ アリス佐竹台	はるる		チャームへムバーステーション千 里津雲台 アブリシエイト定期巡回		
	開設準備・協議中							
全市域	第9期必要整備数		2か所	1か所	1か所	1か所		
	開設済	10施設	19施設	9施設	2施設	4施設	5施設	0施設
	開設準備・協議中	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設

サービス整備圏域別 施設・居住系サービス等の整備状況

別紙 2

令和8年(2026年)1月1日現在

サービス整備圏域	施設サービス				介護サービス				居住系サービス				その他	
	特別養護老人ホーム		地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)		介護老人保健施設		認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)		介護付き有料老人ホーム (【】内は特定施設入居者生活介護の定員数)		施設名		施設名	
	施設名	定員	施設名	定員	施設名	定員	施設名	定員	施設名	定員	施設名	定員	施設名	定員
JR以南	松風園	80	ハビネスさんあいNext	29			きさく苑吹田	9						
	ハビネスさんあい	80					ハビネスさんあい	18						
								27						
		160		29		0		54				0		0
	寿楽荘	50					ヴィコロテイ岸部	18	メデイカルホームくらら吹田【48】	48				
片山・岸部	高寿園	70				吹田市介護老人保健施設	100							
	緑風会イサベル	70				ウエルハウス協和	136							
	メルヴェイエ吹田	120				フェリーチェ吹田	100							
	あす〜る吹田	140												
	吹田滝ヶ池ホーム	50												
豊津・江坂・南吹田		500					336							
	エバーグリーン	70	陽翠苑	29										
	吹田千寿園	100	鶴〜江坂〜	29			エコ吹田	18	プレザンメゾン吹田【36】	36				
							やすらぎ	18						
							明日葉	18						
千里山・佐井寺		170					鶴〜江坂〜	18						
	ちくりんの里	100	縁(ゆかり)	29			めいの家	72	カルム桃山台【65】	88	プレーゴ緑地公園	30		
			寿楽荘春日	29			里(みちのり)	18	グレース・イン緑地公園【88】	88				
									ケアレジデンス千里山【60】	60				
山田・千里丘		100						34						
	いのこの里	80	メヌホット千里丘	29			たんぼぼ	27	そんぼの家万博公園【66】	66				
	みらい	100					ここから南千里	18	ルナハート千里 丘の街【98】	98				
千里NT・万博・阪大		180						45						
	青藍荘	50	スローライフ千里	29			スローライフ千里	18	ケアビレッジ千里・古江台【54】	54	青藍荘	36		
			はる	29			たのしい家南千里	18	ベルパージュ千里けやき通り【60】	126	シャロン千里	50		
			鶴〜北千里〜	29			高寿古江台	18						
合計			アリス佐竹台	29			鶴〜北千里〜	18						
							アリス佐竹台	18						
		50		116				90						86
		1160		290		818		340		9か所【575】		664		3か所

2 地域密着型サービス及び指定介護予防支援の指定等について

(1) 地域密着型サービス事業者の新規指定について

令和7年(2025年)8月1日から令和7年(2025年)11月1日までの新規指定

法人名	事業所名称	サービス種別	事業所所在地	指定年月日
株式会社ハーベスト	アブリシェイト定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	吹田市春日3丁目16番8号 レスカーラ緑地公園101号 室	令和7年10月1日

(2) 介護予防支援事業者の新規指定について

令和7年(2025年)8月1日から令和7年(2025年)11月1日までの新規指定

法人	事業所名称	サービス種別	事業所所在地	指定年月日
医療法人 徳洲会	吹田徳洲会ケアプランセンター	介護予防支援	吹田市千里丘西21番1号	令和7年8月1日
株式会社あまつかぜ	あまつかぜケアプランセンター	介護予防支援	吹田市岸部中三丁目21番3-405	令和7年9月1日

く

3 介護保険特別会計における令和6年度（2024年度）の地域支援事業決算について

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業関係

(款) 地域支援事業費

(項) 介護予防・日常生活支援総合事業費

(項) その他諸費（項番14・15のみ）

(単位：円)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
目	大事業	小事業	令和6年度決算 (2024年度)	令和5年度決算 (2023年度)	増減
1		一般介護予防事業費	101,789,184	99,053,972	2,735,212
2		人件費	48,063,691	51,162,533	▲ 3,098,842
3		介護保険（地域支援）事業	53,725,493	47,891,439	5,834,054
4		介護予防事業 (介護予防普及啓発、介護支援サ ポーター、住民主体の介護予防活動 支援、地域リハビリテーション活動 支援)	27,482,305	22,061,924	5,420,381
5		通い・集いの場介護予防事業 (街かどデイハウス介護予防、ふれ あい交流サロン介護予防)	26,243,188	25,829,515	413,673
6		介護予防・生活支援サービス事業費	886,240,829	850,387,168	35,853,661
7		介護予防・生活支援サービス事業	886,240,829	850,387,168	35,853,661
8		介護予防ケアマネジメント事業費	100,768,457	97,610,045	3,158,412
9		介護予防ケアマネジメント事業	100,768,457	97,610,045	3,158,412
10		高額介護予防サービス費相当事業費	1,771,150	1,731,072	40,078
11		高額介護予防サービス費相当事業	1,771,150	1,731,072	40,078
12		高額医療合算介護予防サービス費相当事業費	2,817,648	1,999,508	818,140
13		高額医療合算介護予防サービス費相当事業	2,817,648	1,999,508	818,140
14		審査支払手数料事業費	2,891,718	2,787,828	103,890
15		審査支払手数料事業	2,891,718	2,787,828	103,890
16		計	1,096,278,986	1,053,569,593	42,709,393

※上表6以降の大事業は、3と同様の介護保険（地域支援）事業です。

※人件費 令和5年度…保健師4名、理学療法士1名、作業療法士1名、体育指導員1名

令和6年度…保健師4名、理学療法士1名、作業療法士1名、体育指導員1名

<参考>

介護予防・日常生活支援総合事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料	第2号保険料
平成30～令和6年度	25.0%	12.5%	12.5%	23.0%	27.0%

(2) 地域包括支援センター運営関係等

(款) 地域支援事業費

(項) 包括的支援事業・任意事業費

(目) 包括的支援事業・任意事業費

(単位: 円)

ア	イ	ウ	エ	オ
大事業	小事業	令和6年度決算 (2024年度)	令和5年度決算 (2023年度)	増減
17	人件費	96,250,670	73,239,603	23,011,067
18	介護保険(地域支援)事業	548,554,270	514,789,751	33,764,519
19	包括的支援事業 (委託型地域包括支援センター、地域包括支援センター運営協議会運営を含む)	447,713,457	408,020,072	39,693,385
20	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	4,841,305	4,976,172	▲ 134,867
21	在宅生活支援事業 (高齢者・介護家族電話相談、救急医療情報キット配布、緊急通報システム)	14,956,571	22,849,323	▲ 7,892,752
22	包括的支援・社会保障充実事業 (在宅医療・介護連携推進、生活支援体制整備、地域ケア会議開催)	23,080,253	23,099,553	▲ 19,300
23	認知症高齢者見守り事業 (徘徊高齢者SOSネットワーク、認知症地域サポート)	499,009	308,400	190,609
24	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	15,982,053	15,301,444	680,609
25	認知症施策推進事業 (認知症初期集中支援推進、認知症地域支援・ケア向上)	17,758,000	17,716,000	42,000
26	認知症サポーター養成事業	495,846	239,440	256,406
27	成年後見制度利用支援事業	17,525,352	15,355,906	2,169,446
28	介護サービス相談員派遣事業	2,132,919	1,300,530	832,389
29	介護給付費適正化事業 (介護給付費通知、介護給付費等分析)	3,545,505	5,578,911	▲ 2,033,406
30	住宅改修支援事業	24,000	44,000	▲ 20,000
31	計	644,804,940	588,029,354	56,775,586
32	地域支援事業総計(項番16+項番31)	1,741,083,926	1,641,598,947	99,484,979

※人件費 令和5年度…保健師3名、主任介護支援専門員2名、社会福祉士3名、事務職1名

令和6年度…保健師3名、主任介護支援専門員2名、社会福祉士3名、事務職1名(令和6年度末退職者1名)

<参考>

包括的支援事業及び任意事業の財源構成

	国	都道府県	市町村	第1号保険料
平成30～令和6年度	38.5%	19.25%	19.25%	23.0%

(3) 令和6年度(2024年度)委託型地域包括支援センター収支決算書 No.1

センター名	(注)					(注)					(単位:円)	
	吹一・吹六	吹三・東	片山	岸部	南吹田	豊津・江坂	千里山東・佐井寺	千里山西				
法人名	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 恩賜財団済生会支 部大阪府済生会	医療法人 協和会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 松柏会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会	社会福祉法人 燎燐会
1 センター職員数(人)	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
2 総人口(人)	15,123	19,277	30,985	24,389	24,498	50,038	25,144	32,071	32,071	32,071	32,071	32,071
3 65歳以上高齢者人口(人)	4,171	5,572	6,933	6,576	4,699	8,006	5,026	6,514	6,514	6,514	6,514	6,514
4 75歳以上高齢者人口(人)	2,603	3,639	4,171	4,113	2,919	4,370	2,835	3,614	3,614	3,614	3,614	3,614
5 高齢化率	27.6%	28.9%	22.4%	27.0%	19.2%	16.0%	20.0%	20.3%	20.3%	20.3%	20.3%	20.3%
6 収入	29,868,200	30,192,200	30,192,200	28,492,200	30,061,200	27,642,200	31,761,200	31,761,200	31,761,200	31,761,200	31,761,200	31,761,200
7 人件費	25,500,000	25,500,000	25,500,000	23,800,000	23,800,000	22,950,000	25,500,000	25,500,000	25,500,000	25,500,000	25,500,000	25,500,000
8 事務費	4,368,200	4,692,200	4,692,200	4,692,200	6,261,200	4,692,200	6,261,200	6,261,200	6,261,200	6,261,200	6,261,200	6,261,200
9 支出	30,998,785	31,922,950	28,768,093	30,791,935	30,158,249	29,887,024	28,451,590	29,331,699	29,331,699	29,331,699	29,331,699	29,331,699
10 内訳	26,960,389	25,354,887	22,943,797	24,417,564	23,727,727	24,300,217	23,648,616	24,597,303	24,597,303	24,597,303	24,597,303	24,597,303
11 収入	4,038,396	6,568,063	5,824,296	6,374,371	6,430,522	5,586,807	4,802,974	4,734,396	4,734,396	4,734,396	4,734,396	4,734,396
12 収入	▲1,130,585	▲1,730,750	1,424,107	▲2,299,735	▲97,049	▲2,244,824	3,309,610	2,429,501	2,429,501	2,429,501	2,429,501	2,429,501

(注) 3職種(介護)の配置について欠員が生じた場合、欠員期間に応じて月単位(42.5万円/1人)で委託料の返還あり。合計11,475,000円の返還がありました。
 ※センター職員(介護)の配置は、管理者及び3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を各1名以上計5名配置することとしています。管理者は、3職種と兼務も可として
 います。職員数については、令和7年3月31日時点の配置人数を記載しています。
 ※既存の事務所で運営ができない場合に限り、事務所の賃借料を委託料に含めて支払っています。また、市の公共施設内で運営しているセンターは光熱水費分を差し引いて支
 払っています。

※総人口及び高齢者人口は、令和7年3月末現在人口統計

参考 【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方、基本チェックリスト該当者の方のプラン作成)】にかかると介護報酬収支 (単位:円)

センター名	(注)					(注)					(単位:円)	
	吹一・吹六	吹三・東	片山	岸部	南吹田	豊津・江坂	千里山東・佐井寺	千里山西				
13 ケアプランナー配置状況(人)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
14 収入	13,058,185	19,010,809	18,590,590	20,256,310	13,033,433	20,256,165	13,525,739	16,038,809	16,038,809	16,038,809	16,038,809	16,038,809
15 支出	550,212	256,109	3,428,384	3,233,039	484,239	1,278,957	3,237,877	2,733,033	2,733,033	2,733,033	2,733,033	2,733,033
16 内訳	6,749,649	11,581,173	12,589,215	13,301,849	7,233,549	14,045,652	10,052,778	11,618,806	11,618,806	11,618,806	11,618,806	11,618,806
17 収入	7,299,861	11,837,282	16,017,599	16,534,888	7,717,788	15,324,609	13,290,655	14,351,839	14,351,839	14,351,839	14,351,839	14,351,839
18 収入	5,758,324	7,173,527	2,572,991	3,721,422	5,315,645	4,931,556	235,084	1,686,970	1,686,970	1,686,970	1,686,970	1,686,970

(3) 令和6年度(2024年度)委託型地域包括支援センター収支決算書 No.2

センター名	(注)			(注)			(注)			合計	1センター当たりの平均
	亥の子谷	山田	千里丘	桃山台・竹見台	佐竹台・高野台	古江台・青山台	津雲台・藤白白	合計	1センター当たりの平均		
法人名	社会福祉法人 こばと会	社会福祉法人 こばと会	株式会社 ケア21	医療法人 協和会	社会福祉法人 藍野福祉社会	社会福祉法人 大阪キリスト教 女子青年福祉社会	医療法人 愛仁会	-	-	-	
1 センター職員数(人)	5	5	4	5	5	5	6	74	5		
2 総人口(人)	24,054	23,523	44,949	15,796	14,492	17,953	22,010	384,302	25,620		
3 65歳以上高齢者人口(人)	7,379	7,170	9,191	4,764	4,667	5,259	5,217	91,144	6,076		
4 75歳以上高齢者人口(人)	4,235	4,212	5,308	3,100	2,978	3,372	3,117	54,586	3,639		
5 高齢化率	30.7%	30.5%	20.4%	30.2%	32.2%	29.3%	23.7%	-	-		
6 ①市からの委託料	29,443,200	27,217,200	30,192,200	28,168,200	30,192,200	30,192,200	29,767,200	445,143,000	29,676,200		
7 人件費分	25,075,000	22,525,000	25,500,000	23,800,000	25,500,000	25,500,000	25,075,000	371,025,000	24,735,000		
8 事務費分	4,368,200	4,692,200	4,692,200	4,368,200	4,692,200	4,692,200	4,692,200	74,118,000	4,941,200		
9 ②支出合計	25,325,876	28,537,275	26,417,726	28,591,514	24,069,286	30,791,699	31,460,484	435,504,205	29,033,614		
10 人件費分	21,341,034	22,615,264	22,547,341	23,311,539	20,514,277	26,087,419	26,740,712	359,108,086	23,940,539		
11 事務費分	3,984,862	5,922,011	3,870,385	5,279,975	3,555,009	4,704,280	4,719,772	76,396,119	5,093,075		
12 収支①-②	4,117,304	▲1,320,075	3,774,474	▲423,314	6,122,914	▲599,499	▲1,693,284	9,638,795	642,586		

(注) 3職種の配置について欠員が生じた場合、欠員期間に於じて月単位(42.5万円/1人)で委託料の返還あり。合計1,475,000円の返還がありました。

※センター職員配置は、管理者及び3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を各1名以上計5名配置することとしています。管理者は、3職種と兼務も可としています。職員数については、令和7年3月31日時点の配置人数を記載しています。

※既存の事務所運営ができない場合に限り、事務所の賃借料を委託料に含めて支払っています。また、市の公共施設内で運営しているセンターは光熱水費分を差し引いて支払っています。

※総人口及び高齢者人口は、令和7年3月末現在人口統計

参考 【指定介護予防支援関係(要支援1,2の方、基本チェックリスト該当者のプラン作成)】にかかるとの介護報酬収支

センター名	(注)			(注)			(注)			合計	1センター当たりの平均
	亥の子谷	山田	千里丘	桃山台・竹見台	佐竹台・高野台	古江台・青山台	津雲台・藤白白	合計	1センター当たりの平均		
13 ケアプランナー配置状況(人)	1	0	1	1	1	0	0	6	0		
14 収入	15,218,264	16,474,714	20,046,978	18,363,108	16,192,061	16,795,292	14,134,594	250,995,051	16,733,003		
15 支出	1,428,635	1,190,277	1,036,649	4,799,154	3,516,231	2,025,153	4,718,949	33,916,898	2,261,127		
16 内訳	11,742,147	11,623,974	9,059,091	8,673,111	11,788,656	13,714,468	8,487,554	162,261,672	10,817,445		
17 支出合計④	13,170,782	12,814,251	10,095,740	13,472,265	15,304,887	15,739,621	13,206,503	196,178,570	13,078,571		
18 収支③-④	2,047,482	3,660,463	9,951,238	4,890,843	887,174	1,055,671	928,091	54,816,481	3,654,432		

4 令和7年度吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について

(1) 吹田市地域包括支援センター運営業務実施状況の評価について

ア 趣旨

地域包括支援センターについては、今後、地域包括ケアシステムの構築に向けて、その要の役割を果たすことが期待されており、運営業務が公正に、かつ、効果的・効率的に遂行されているかを適切に評価し、不十分な点があれば改善に向けて取り組むなどし、センターの運営について一定の水準を確保する必要があります。

こうしたことから、委託事業者及び本市において、毎年度、センターの委託業務実施状況の評価を行うとともに、5年間の委託契約のうち4年目には外部有識者等の専門的見地からの評価(委員評価)を加えることとしています。

イ 評価の実施主体

評価名称	主体
自己評価	受託事業者
1次評価	吹田市
委員評価	吹田市地域包括支援センター運営業務委託事業者選定等委員会※1

※1 学識経験者、有識者等で構成されている市の附属機関です。

「自己評価」及び「1次評価」は毎年度、「委員評価」は5年に1回実施します。

令和7年度は、「委員評価」を実施するセンターはありません。

ウ 評価の対象(地域包括支援センター名称)

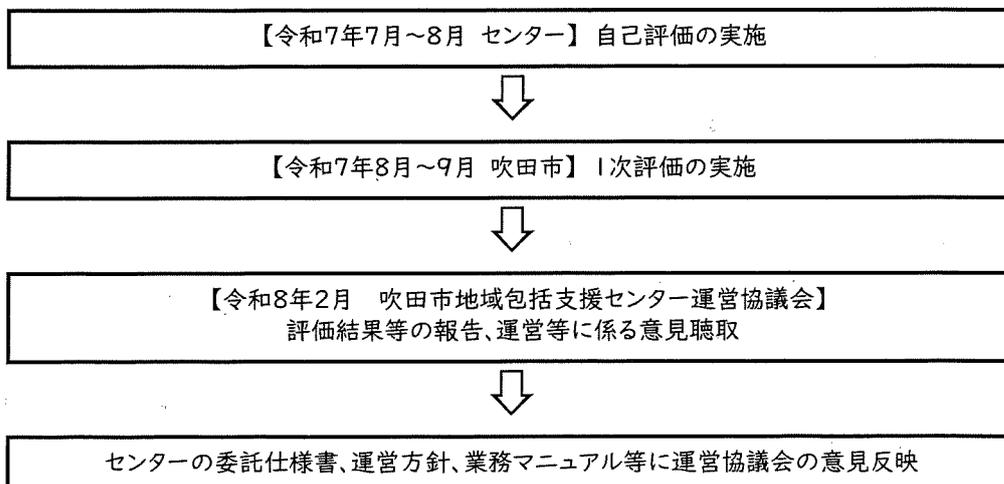
吹一・吹六、吹三・東、片山、岸部、南吹田、豊津・江坂、千里山東・佐井寺、千里山西

亥の子谷、山田、千里丘、桃山台・竹見台、佐竹台・高野台、古江台・青山台、津雲台・藤白台

エ 評価の方法

委託事業者は前年度の業務実施状況について、国及び市が定めた評価項目に基づき自己評価を実施します。

オ 評価等の流れ(令和7年度実施分)



(2) 評価指標

		活動目標	取組内容
1 ・地域包括ケアシステムの構築・推進	1	市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する	A 人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか
			B 介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか
			C センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか
			D 相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか

		活動目標	取組内容	
2 ・組織・運営体制	2	市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る	A 市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか	
			B 当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか	
			C 市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか	
			D センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	
	3	センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う	A センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	
			B センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	
			C センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行っているか	
			D 特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行っているか	
	4	センター職員の人材確保および育成を図る	A センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	
			B センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか	
			C センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修(Off-JT)に参加できるようにしているか	
			D センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	
			E 【市町村により選択】スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか	
	5	市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	A 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか	
			B 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか	
			C 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告(共有)の体制を構築しているか	
			D センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか	
			E 【市町村により選択】センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか	
	6	5	【市町村により選択】*中間アウトカム指標* センター職員の定着率	

		活動目標	取組内容
3 総合相談支援事業	7	1 地域包括支援ネットワークを構築する	A 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか
			B 気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか
			C 相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか
			D 【市町村により選択】 高齢者福祉分野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか
	8	2 市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす	A 相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか
			B 相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか
			C 相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか
			D 相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか
	9	3 家族介護者支援に取り組む	A 夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか
			B 支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。
			C 家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか
			D 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか
E 【市町村により選択】 家族介護者に対する予防的な取組を行っているか			
10	4 複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	A 相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか	
		B ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	
		C 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	
		D 相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	

		活動目標	取組内容
4 権利擁護事業	11	1 高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う	A 市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか
			B 消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか
			C 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか
			D 高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか
			E センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか
			F 【市町村により選択】 センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか

活動目標			取組内容		
5・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	12	1	担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う	A	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等)を把握しているか
				B	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか
				C	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか
				D	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか
				E	介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか
	13	2	市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う	A	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認しているか
				B	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認しているか
				C	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしているか

活動目標			取組内容		
6・地域ケア会議	14	1	センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる	A	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか
				B	センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか
				C	市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか
				D	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか
				E	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか
	15	2	地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する	A	センター主催の地域ケア会議(地域ケア個別会議)において、地域課題の可能性のある課題を抽出しているか
				B	センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか
				C	センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか
				D	地域課題の整理・分析・対応等を行うために、市町村レベルの地域ケア会議(地域ケア推進会議)等に参加または資料提出しているか

活動目標			取組内容		
7 ・ 介護 予防 ケア マネ ジ メント ・ 介護 予 防 支 援	16	1	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する	A	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか
				B	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか
				C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか
				D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか
				E	市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか
				F	【市町村により選択】 介護予防ケアマネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っているか

活動目標			取組内容		
8 ・ 包括 的 支 援 事 業 （ 社 会 保 障 充 実 分 ）	17	1	事業間連携を推進する	A	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか
				B	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか
				C	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか
				D	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか
				E	【市町村により選択】 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進しているか
18	2	【市町村により選択】*アウトプット指標* 医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数			

活動目標			取組内容	
9 ・ 経営 状 況 の 法 人 の	19	1	法人の健全な経営状況	

(3) 評価結果

ア 基幹型地域包括支援センター	15 ページ
イ 委託型地域包括支援センター	
・吹一・吹六地域包括支援センター	16 ページ
・吹三・東地域包括支援センター	17 ページ
・片山地域包括支援センター	18 ページ
・岸部地域包括支援センター	19 ページ
・南吹田地域包括支援センター	20 ページ
・豊津・江坂地域包括支援センター	21 ページ
・千里山東・佐井寺地域包括支援センター	22 ページ
・千里山西地域包括支援センター	23 ページ
・亥の子谷地域包括支援センター	24 ページ
・山田地域包括支援センター	25 ページ
・千里丘地域包括支援センター	26 ページ
・桃山台・竹見台地域包括支援センター	27 ページ
・佐竹台・高野台地域包括支援センター	28 ページ
・古江台・青山台地域包括支援センター	29 ページ
・津雲台・藤白台地域包括支援センター	30 ページ

基幹型地域包括支援センター

地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について、自己評価を行ったものを国に提出した結果です。(令和7年度実施分)

センター・市 評価基準					
【1】取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。					
【0】取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。					
	活動目標	趣旨・考え方	設問数	【1】の割合	全体の割合
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	市町村の目指している地域包括ケアシステムの構築において、市町村が計画的にセンターを活用する	わがまちの地域包括ケアシステムの構築を推進するために、その中核拠点であるセンターの課題や強みを把握したうえで、計画的にセンターの機能強化を図り、活用しているかを評価する。	4	4	85.92%
2. 組織・運営体制	評価結果およびそれをもとにした運営協議会の議論やセンターとの協議を踏まえて、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し、それを実施できる予算を確保する	評価結果をもとに、センターの現状や課題を把握したうえで、センターが最大限機能できるように運営協議会やセンターと協議を行い、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し、実際にそれを実施できる予算を確保しているかを評価する。	4	4	
	実施方針に基づいてセンターが効果的に運営できるように、人員配置や人材育成に取り組む	実施方針に基づきセンターが効果的に運営するために必要な人材の状況を把握したうえで、必要に応じた人材確保、人員配置、人材育成および業務効率化等を行なっているかを評価する。	4	2	
	高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、センターの周知を行う	高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、高齢者をはじめとした様々な地域住民がセンターの存在やサービス等を知ることができるよう周知を行なっているかを評価する。	3	3	
	センターが個人情報保護等に留意しながら運営できるように体制支援を行う	センターが個人情報保護等に留意しながら運営し、必要に応じて苦情やカスタマー・ハラスメント等に対応できる体制構築を支援しているかを評価する。	4	4	
3. 総合相談支援事業	センターが総合相談支援事業を適切に実践できるよう、総合相談支援体制の構築に取り組む	センターが総合相談、地域包括支援ネットワーク構築、実態把握等の総合相談支援事業を効果的に実施することができるように体制構築ができていないかを評価する。	4	4	
	センターにおける相談件数や相談内容を把握して、相談支援体制の改善を図る	センターの総合相談支援の実績を踏まえて、より効果的な総合相談支援ができるように、体制を改善しているかを評価する。	4	4	
4. 権利擁護事業	センターが権利擁護事業を遂行するための体制構築に取り組む	市町村の責務を踏まえ、センターが権利擁護事業を適切に実施できるようにするための体制を構築しているかを評価する。	4	3	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	センターが包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を適切に行うための体制を支援する	センターが介護支援専門員への個別ケアマネジメント支援と環境整備を適切に行えるように体制を支援できているかを評価する。	5	5	
6. 地域ケア会議	地域ケア会議のすべての機能を発揮する地域ケア会議の体系を構築し、すべての機能を果たす	地域ケア会議の5つの機能(①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形成機能)すべてが発揮されるようその体系を構築しているか、また、高齢者個人に対する支援の充実と地域包括ケアシステムの構築を同時に推進するために、すべての機能が果たされているかを評価する。	5	5	
	地域ケア会議の運営の仕組みを構築し、関係者に周知する	地域ケア会議を有効に活用するための運営の仕組みを構築し、センターや関係者と共有できているかを評価する。	4	4	
	地域ケア会議を有効に活用する	個別ケース検討による高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援やネットワーク構築、そして把握した地域課題への対応等を行えるように、地域ケア会議を活用できているかを評価する。	5	2	
	地域ケア会議の運営において、センター等と協働する	地域ケア会議の運営において、市町村がセンターと適切に協働し、かつその成果等を関係者や住民に公表しているかを評価する。	4	4	
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるよう体制を構築する	センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるように、市町村として体制を構築しているかを評価する。	8	7	
	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法をセンターと協議して定め、それに基づき適切に運営する	介護予防支援の実態を踏まえて、介護予防サービス計画の検証方法をセンターと協議して定め、それに基づき適切に運営しているかを評価する。	5	2	
8. 包括的支援事業(社会保障充実分)	包括的支援事業(社会保障充実分)を推進するために、センターの活動を位置づけ、その支援を行う	包括的支援事業(社会保障充実分)のセンター委託の有無にかかわらず、それぞれの事業におけるセンターの役割を明確にし、適切に事業推進するために支援できているかを評価する。	4	4	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 吹一・吹六地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 燦愛会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:吹三・東地域包括支援センター

法人名:社会福祉法人 燦愛会

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 片山地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部大阪府済生会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保障充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	16	6	8	9	5	5	1
全体の割合	97.30%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 岸部地域包括支援センター

法人名: 医療法人 協和会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準

【1】取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。

【0】取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	16	6	8	9	5	5	1
全体の割合	97.30%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 南吹田地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 燦愛会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保障充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 豊津・江坂地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 松柏会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
全体の割合	100%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 千里山東・佐井寺地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 寿楽福祉会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保障充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:千里山西地域包括支援センター

法人名:社会福祉法人 寿楽福祉会

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	5	8	9	5	5	1
全体の割合	97.30%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 亥の子谷地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 こばと会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保障充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:山田地域包括支援センター

法人名:社会福祉法人 こばと会

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
全体の割合	100%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:千里丘地域包括支援センター

法人名:株式会社 ケア21

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	15	6	8	9	5	5	0
全体の割合	94.59%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね取組内容や留意点について実施できていますが、⑨法人の経営状況については、今後も改善状況を確認します。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 桃山台・竹見台地域包括支援センター

法人名: 医療法人 協和会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名: 佐竹台・高野台地域包括支援センター

法人名: 社会福祉法人 藍野福祉会

評価年度: 令和6年度

センター・市 評価基準

【1】取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。

【0】取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
全体の割合	100%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価

各項目において、取組内容や留意点について実施できています。

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:古江台・青山台地域包括支援センター

法人名:社会福祉法人 大阪キリスト教女子青年福祉会

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準	
【1】	取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。
【0】	取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保険充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	16	6	8	9	5	5	1
全体の割合	97.30%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価	
各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。	

令和7年度吹田市地域包括支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:津雲台・藤白台地域包括支援センター

法人名:社会医療法人 愛仁会

評価年度:令和6年度

センター・市 評価基準

【1】取り組み内容や留意点を満たしており、業務内容が求められるレベルに達している。

【0】取り組み内容や留意点を満たしておらず、業務内容が求められるレベルに達していない。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
市評価	地域包括ケアシステムの構築・推進	組織・運営体制	総合相談支援事業	権利擁護事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域ケア会議	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	包括的支援事業(社会保障充実分)	法人の経営状況
項目数	4	18	17	6	8	9	6	5	1
【1】の数	4	18	17	6	8	9	5	5	1
全体の割合	98.65%								

※国から示された評価指標をもとに自己評価とし、市が1次評価を行った結果を表したものです。

市の評価

各項目において、概ね、取組内容や留意点について実施できています。

(4) 地域包括支援センター アンケート結果

利用者等の意見を聴取することで、改善すべき点の把握と対応を行うことを目的として、地域包括支援センターを利用する介護支援専門員及び市民を対象にアンケートを実施しました。
アンケート項目は、介護支援専門員及び利用者それぞれ5項目ずつ、満足から不満まで5段階としました。下記は、全項目の満足から不満までの割合を示したもので、具体的な意見等のうち改善を要するものについては、センターにおいて改善に取り組みました。

ア 介護支援専門員を対象としたアンケート結果

<アンケート項目>

- ①センターからの支援や助言(相談しやすい体制や雰囲気、迅速だったか、わかりやすかったか等支援や助言が得られたか)
- ②支援困難ケースへの対応(支援のための課題が的確に整理され、解決への具体的な方向性が示されたか等十分に相談に応じられたか)
- ③ケアマネ塾やケアマネ懇談会等の取組により、ケアマネとしてのスキルアップが図られたと感じるか
- ④地域の社会資源など(民生委員、自治会、インフォーマル社会資源等)の情報提供や助言により、ケアマネとして地域連携がスムーズになったと感じるか
- ⑤委託ケアプランの管理(ケアプラン作成や内容、給付管理について適切な支援が受けられたか)

吹一・吹六地域包括支援センター						回答者数 22人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	17	2	3	0	0	0
②	10	1	4	0	0	7
③	5	6	5	0	0	6
④	7	6	4	2	0	3
⑤	14	4	3	0	1	0
合計	53	19	19	2	1	16
割合	48.2%	17.3%	17.3%	1.8%	0.9%	14.5%

吹三・東地域包括支援センター						回答者数 23人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	9	6	7	0	0	1
②	6	5	5	0	0	7
③	3	6	10	0	0	4
④	4	3	10	1	0	5
⑤	10	3	10	0	0	0
合計	32	23	42	1	0	17
割合	27.8%	20.0%	36.5%	0.9%	0.0%	14.8%

片山地域包括支援センター						回答者数 27人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	6	5	11	1	0	4
②	5	6	11	1	0	4
③	2	6	13	0	0	6
④	5	5	11	2	0	4
⑤	12	4	10	0	0	1
合計	30	26	56	4	0	19
割合	22.2%	19.3%	41.4%	3.0%	0.0%	14.1%

岸部地域包括支援センター						回答者数 17人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	7	5	5	0	0	0
②	3	4	5	0	0	5
③	2	1	8	0	0	6
④	1	3	8	0	0	5
⑤	9	2	6	0	0	0
合計	22	15	32	0	0	16
割合	25.9%	17.6%	37.7%	0.0%	0.0%	18.8%

南吹田地域包括支援センター						回答者数 18人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	6	4	7	0	0	1
②	4	1	8	0	0	5
③	6	2	9	0	0	1
④	2	4	9	0	0	3
⑤	7	4	7	0	0	0
合計	25	15	40	0	0	10
割合	27.8%	16.7%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%

豊津・江坂地域包括支援センター						回答者数 20人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	9	5	5	0	0	1
②	8	4	5	0	0	3
③	9	4	5	0	0	2
④	9	3	6	0	0	2
⑤	11	2	5	0	0	2
合計	46	18	26	0	0	10
割合	46.0%	18.0%	26.0%	0.0%	0.0%	10.0%

千里山東・佐井寺地域包括支援センター						回答者数 26人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	11	6	5	1	0	3
②	10	6	4	1	0	5
③	8	5	11	0	0	2
④	9	5	11	0	0	1
⑤	14	3	9	0	0	0
合計	52	25	40	2	0	11
割合	40.0%	19.2%	30.8%	1.5%	0.0%	8.5%

千里山西地域包括支援センター						回答者数 43人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	16	8	14	2	1	2
②	11	2	17	3	1	9
③	7	5	21	0	0	10
④	9	4	21	2	0	7
⑤	22	4	17	0	0	0
合計	65	23	90	7	2	28
割合	30.2%	10.7%	41.9%	3.3%	0.9%	13.0%

亥の子谷地域包括支援センター						回答者数 29人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	12	3	14	0	0	0
②	8	4	11	0	0	6
③	7	5	13	0	0	4
④	9	3	14	1	0	2
⑤	13	6	10	0	0	0
合計	49	21	62	1	0	12
割合	33.8%	14.5%	42.7%	0.7%	0.0%	8.3%

山田地域包括支援センター						回答者数 30人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	10	5	13	0	0	2
②	6	5	9	1	0	9
③	6	4	14	0	0	6
④	7	3	13	1	0	6
⑤	8	6	14	0	0	2
合計	37	23	63	2	0	25
割合	24.7%	15.3%	42.0%	1.3%	0.0%	16.7%

千里丘地域包括支援センター						回答者数 15人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	7	1	5	1	1	0
②	6	3	5	1	0	0
③	5	3	5	0	0	2
④	5	2	6	0	0	2
⑤	7	1	5	1	1	0
合計	30	10	26	3	2	4
割合	40.0%	13.3%	34.7%	4.0%	2.7%	5.3%

桃山台・竹見台地域包括支援センター						回答者数 21人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	6	6	7	0	0	2
②	6	5	3	2	0	5
③	5	2	8	0	0	6
④	4	2	11	0	0	4
⑤	9	2	9	1	0	0
合計	30	17	38	3	0	17
割合	28.6%	16.2%	36.1%	2.9%	0.0%	16.2%

佐竹台・高野台地域包括支援センター						回答者数 44人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	13	10	19	0	1	1
②	10	8	17	0	0	9
③	8	6	20	0	0	10
④	8	9	20	1	0	6
⑤	11	10	19	2	0	2
合計	50	43	95	3	1	28
割合	22.7%	19.5%	43.2%	1.4%	0.5%	12.7%

古江台・青山台地域包括支援センター						回答者数 22人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	9	7	5	1	0	0
②	6	4	6	1	0	5
③	4	5	6	0	0	7
④	7	2	7	0	0	6
⑤	9	5	7	0	0	1
合計	35	23	31	2	0	19
割合	31.8%	20.9%	28.2%	1.8%	0.0%	17.3%

津雲台・藤白台地域包括支援センター						回答者数 23人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	9	1	11	0	0	2
②	6	3	8	0	0	6
③	5	3	8	0	0	7
④	5	4	7	0	0	7
⑤	4	6	10	0	0	3
合計	29	17	44	0	0	25
割合	25.2%	14.8%	38.3%	0.0%	0.0%	21.7%

ア 利用者を対象としたアンケート結果

<アンケート項目>
 ①職員の対応はどうでしたか。(ていねいだったか、迅速だったか、わかりやすかったか)
 ②困っていたことや知りたかったことについて、十分な説明や支援がありましたか。
 ③センターに相談したことで、安心することができましたか。
 ④職員の言葉づかい、マナーや身だしなみはいかがでしたか。
 ⑤看板などの案内表示はわかりやすかったですか。

吹一・吹六地域包括支援センター						回答者数 6人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5	4	3	2	1	0
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	回答なし
①	5	0	1	0	0	0
②	5	1	0	0	0	0
③	5	1	0	0	0	0
④	6	0	0	0	0	0
⑤	3	2	1	0	0	0
合計	24	4	2	0	0	0
割合	80.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%

吹三・東地域包括支援センター						回答者数 7人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5	4	3	2	1	0
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	回答なし
①	7	0	0	0	0	0
②	7	0	0	0	0	0
③	7	0	0	0	0	0
④	7	0	0	0	0	0
⑤	3	0	0	0	0	4
合計	31	0	0	0	0	4
割合	88.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%

片山地域包括支援センター						回答者数 24人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5	4	3	2	1	0
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	回答なし
①	23	1	0	0	0	0
②	22	1	1	0	0	0
③	21	3	0	0	0	0
④	23	1	0	0	0	0
⑤	11	3	8	0	0	2
合計	100	9	9	0	0	2
割合	83.3%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	1.7%

岸部地域包括支援センター						回答者数 13人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5	4	3	2	1	0
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	回答なし
①	12	1	0	0	0	0
②	12	1	0	0	0	0
③	11	2	0	0	0	0
④	11	2	0	0	0	0
⑤	8	1	0	0	0	4
合計	54	7	0	0	0	4
割合	83.0%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%

南吹田地域包括支援センター						回答者数 4人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	3	1	0	0	0	0
②	4	0	0	0	0	0
③	2	1	1	0	0	0
④	4	0	0	0	0	0
⑤	1	1	1	0	0	1
合計	14	3	2	0	0	1
割合	70.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.0%

豊津・江坂地域包括支援センター						回答者数 10人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	10	0	0	0	0	0
②	10	0	0	0	0	0
③	9	1	0	0	0	0
④	10	0	0	0	0	0
⑤	4	1	2	0	0	3
合計	43	2	2	0	0	3
割合	86.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.0%

千里山東・佐井寺地域包括支援センター						回答者数 19人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	17	2	0	0	0	0
②	15	4	0	0	0	0
③	14	5	0	0	0	0
④	16	3	0	0	0	0
⑤	15	3	0	0	0	1
合計	77	17	0	0	0	1
割合	81.0%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%

千里山西地域包括支援センター						回答者数 12人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	12	0	0	0	0	0
②	11	1	0	0	0	0
③	12	0	0	0	0	0
④	12	0	0	0	0	0
⑤	10	2	0	0	0	0
合計	57	3	0	0	0	0
割合	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

亥の子谷地域包括支援センター						回答者数 12人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	11	1	0	0	0	0
②	10	2	0	0	0	0
③	10	2	0	0	0	0
④	11	1	0	0	0	0
⑤	8	4	0	0	0	0
合計	50	10	0	0	0	0
割合	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

山田地域包括支援センター						回答者数 13人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	12	1	0	0	0	0
②	9	4	0	0	0	0
③	12	1	0	0	0	0
④	11	2	0	0	0	0
⑤	8	1	3	0	0	1
合計	52	9	3	0	0	1
割合	80.1%	13.8%	4.6%	0.0%	0.0%	1.5%

千里丘地域包括支援センター						回答者数 26人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	25	1	0	0	0	0
②	23	2	1	0	0	0
③	21	3	0	0	0	2
④	23	3	0	0	0	0
⑤	11	4	4	1	0	6
合計	103	13	5	1	0	8
割合	79.2%	10.0%	3.8%	0.8%	0.0%	6.2%

桃山台・竹見台地域包括支援センター						回答者数 21人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	19	2	0	0	0	0
②	19	0	2	0	0	0
③	19	1	0	1	0	0
④	21	0	0	0	0	0
⑤	17	3	1	0	0	0
合計	95	6	3	1	0	0
割合	90.4%	5.7%	2.9%	1.0%	0.0%	0.0%

佐竹台・高野台地域包括支援センター						回答者数 10人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	10	0	0	0	0	0
②	10	0	0	0	0	0
③	9	1	0	0	0	0
④	10	0	0	0	0	0
⑤	10	0	0	0	0	0
合計	49	1	0	0	0	0
割合	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

古江台・青山台地域包括支援センター						回答者数 15人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	14	1	0	0	0	0
②	14	1	0	0	0	0
③	12	2	1	0	0	0
④	15	0	0	0	0	0
⑤	9	4	2	0	0	0
合計	64	8	3	0	0	0
割合	85.3%	10.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%

津雲台・藤白台地域包括支援センター						回答者数 5人
アンケート項目	回答数 内訳					
	5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	0 回答なし
①	4	0	1	0	0	0
②	4	1	0	0	0	0
③	4	0	1	0	0	0
④	4	0	1	0	0	0
⑤	3	0	0	1	0	1
合計	19	1	3	1	0	1
割合	76.0%	4.0%	12.0%	4.0%	0.0%	4.0%

5 令和7年度(2025年度)上半期 地域包括支援センター業務報告

(1) 総合相談支援業務関係

ア センター別総合相談件数

センターは、高齢者やその家族等の総合相談窓口です。
 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けることができるように、地域における適切な介護・保健・医療・福祉の各サービスや、関係機関の利用を調整します。基幹型センターも含めたセンター全体の件数は昨年度と比較して増加傾向にあります。

(単位:件)

地域名	センター名	相談総数		相談件数						相談件数(再掲)			
				権利擁護関係		介護支援専門員からの相談		介護保険サービス等についての相談		(再掲)訪問対応		(再掲)認知症に関する相談	
		令和6年度	(令和7年度) (4/9月)	令和6年度	(令和7年度) (4/9月)	令和6年度	(令和7年度) (4/9月)	令和6年度	(令和7年度) (4/9月)	令和6年度	(令和7年度) (4/9月)	令和6年度	(令和7年度) (4/9月)
JR以南	吹一吹六	1,779	932	193	121	11	8	1,575	803	284	170	460	238
	吹三東	2,371	1,306	302	174	63	63	2,006	1,069	316	198	457	248
片山・岸部	片山	3,067	1,998	164	202	231	158	2,672	1,638	420	356	885	799
	岸部	1,350	628	114	38	143	76	1,093	514	156	62	246	142
豊南吹田・江坂	南吹田	2,507	1,207	330	177	50	31	2,127	999	550	223	821	439
	豊津江坂	2,194	1,256	116	137	204	157	1,874	962	271	142	591	490
佐井寺・千里山	千里山東佐井寺	1,850	1,049	95	140	151	41	1,604	868	150	165	243	175
	千里山西	2,037	1,267	354	218	221	165	1,462	884	199	117	788	563
山田・千里丘	亥の子谷	1,733	883	98	69	21	23	1,614	791	97	60	250	206
	山田	1,878	1,310	182	282	111	101	1,585	927	81	100	250	221
	千里丘	2,644	1,281	279	105	68	58	2,297	1,118	412	190	263	134
千里ニュータウン 万博・阪大	桃山台竹見台	1,637	744	196	140	152	58	1,289	546	159	83	357	190
	佐竹台高野台	1,722	809	68	17	82	49	1,572	743	182	58	486	196
	古江台青山台	1,509	687	71	32	70	18	1,368	637	143	63	219	116
	津雲台藤白台	1,451	667	91	9	47	50	1,313	608	226	99	355	114
基幹型包括(高齢福祉室)	2,415	1,614	951	579	30	15	1,434	1,020	381	201	485	389	
合計	32,144	17,638	3,604	2,440	1,655	1,071	26,885	14,127	4,027	2,287	7,156	4,660	

イ 総合相談内訳

(単位：件)

		令和6年度			令和7年度(4月～9月)			
		基幹型センター	I5センター	合計	基幹型センター	I5センター	合計	
対象者の状況	年齢別	69歳まで	104	1,750	1,854	106	1,085	1,191
		70歳台	813	7,562	8,375	508	4,287	4,795
		80歳台	1,230	15,082	16,312	802	7,943	8,745
		90歳～	237	3,475	3,712	186	1,809	1,995
		不明	31	1,860	1,891	12	900	912
	計	2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638	
	現況別	在宅	1,844	25,615	27,459	1,322	13,561	14,883
		入院又は入所中	487	3,851	4,338	259	2,326	2,585
		不明	84	263	347	33	137	170
		計	2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638
	介護度別	未申請・申請中・非該当	875	14,869	15,744	489	7,702	8,191
		事業対象者・要支援1・要支援2	511	6,882	7,393	416	3,392	3,808
		要介護1～要介護5	983	6,268	7,251	690	4,108	4,798
		不明	46	1,710	1,756	19	822	841
		計	2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638
	認知症	認知症有り	485	6,690	7,175	389	4,266	4,655
認知症無し		528	7,469	7,997	366	3,820	4,186	
不明		1,402	15,570	16,972	859	7,938	8,797	
計		2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638	
相談対応の状況	緊急ケア	ケア有り	12	258	270	4	148	152
		ケア無し	2,403	29,471	31,874	1,610	15,876	17,486
		計	2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638
	相談方法	来所	322	5,460	5,782	210	2,696	2,906
		電話	1,621	20,008	21,629	1,123	10,847	11,970
		訪問	381	3,660	4,041	201	2,092	2,293
		その他	91	601	692	80	389	469
		計	2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638
	相談者	本人	425	8,403	8,828	235	4,237	4,472
夫		16	968	984	3	503	506	
妻		9	2,139	2,148	5	1,133	1,138	
息子		51	1,876	1,927	31	875	906	
娘		38	3,542	3,580	21	1,937	1,958	
兄弟姉妹		8	404	412	6	196	202	
子の配偶者		0	523	523	0	261	261	
その他親族(甥・姪など)		20	518	538	3	247	250	
同居者		0	24	24	1	17	18	
民生委員・福祉委員		1	948	949	1	486	487	
警察		34	283	317	6	258	264	
行政機関		114	1,767	1,881	104	1,079	1,183	
消防		64	5	69	33	3	36	
近隣住民		20	321	341	7	213	220	
家主		2	25	27	0	7	7	
知人		9	415	424	7	142	149	
ケアマネジャー		27	3,248	3,275	17	2,131	2,148	
介護保険サービス事業者		13	832	845	11	456	467	
民間事業者		32	555	587	10	347	357	
医療機関		61	1,886	1,947	18	1,003	1,021	
認知症初期集中支援チーム		1	448	449	3	136	139	
認知症地域支援推進員		2	3	5	0	4	4	
社協		10	204	214	9	123	132	
他地域包括		1,362	217	1,579	1,051	123	1,174	
その他		96	175	271	32	107	139	
計		2,415	29,729	32,144	1,614	16,024	17,638	

ウ 各種サービス等受付件数

センターは、地域の高齢者やその家族、関係者の相談に対応するとともに、令和元年度から、高齢者にかかる介護・福祉の各種サービスの申請について、地域に身近な受付窓口としての機能を担っています。サービス利用の相談から申請までをワンストップで受け付けることで、迅速かつ適切なサービス提供につなげています。

地域名	センター名	サービス等受付件数 (単位：件)				令和7年度 上半期 センター別 合計
		介護保険サービス 関連		高齢者在宅福祉サービス 関連		
		令和6年度	令和7年度 (4月～9月)	令和6年度	令和7年度 (4月～9月)	
JR以南	吹一・吹六	512	253	88	11	264
	吹三・東	369	212	35	5	217
片山・岸部	片山	435	216	70	18	234
	岸部	551	321	94	36	357
豊南吹田 ・江坂	南吹田	309	156	19	6	162
	豊津・江坂	277	151	15	21	172
千里山・ 佐井寺	千里山東 佐井寺	438	239	20	37	276
	千里山西	429	230	28	15	245
山田・ 千里丘	亥の子谷	739	397	100	52	449
	山田	390	227	89	24	251
	千里丘	756	440	61	21	461
千里ニュー タウン ・阪大	桃山台 竹見台	883	484	146	50	534
	佐竹台 高野台	531	239	40	21	260
	古江台 青山台	517	271	61	68	339
	津雲台 藤白台	546	277	55	17	294
合計		7,682	4,113	921	402	4,515

エ 総合相談事例

相談者は、本人や家族のほか、近隣住民、関係機関、病院、ケアマネジャー等多岐に渡ります。認知症への対応として認知症初期集中支援チームとの連携や成年後見制度の活用に向けた支援の事例の他、認知症の高齢者を含む老々介護、精神疾患のある子との同居、経済的な困窮等複数の課題を含む相談が増えています。センターは本人の意向に寄り添いながら意思決定を支援し、本人の希望する生活を継続できるように、親族や関係機関、地域等との調整を行っています。

①	相談概要	センターに、本人(女性 90歳代)の自宅から毎夜、怒鳴り声や物を投げるような音、「やめて」など本人らしき声が聞こえると電話があった。以前、センターが本人のケアマネジャーとして関わっており、本人と子の二人暮らしであった。
	対応	センターが家庭訪問して本人と子と面談。子によると、本人がお金を失くし、どこにやったのか聞いても嘘をついてごまかすことに苛立ち、大声を上げて叱責したり手が出てしまうことがある。本人によると、理由は分からないが子によく怒られるため、いずれは施設に入所したいとのこと。子に認知症への理解を促すとともに、センターが関わっていた頃より要介護度が重くなっていることから、子の介護負担軽減のため、介護保険サービスの追加等を提案した。
	結果	子は自身で本人を介護する意思が強く、介護保険サービスの追加等の必要性を感じていなかったが、センターとケアマネジャーが子に説明を続け、子も以前に比べて介護の相談をケアマネジャーにするようになり、通所介護等サービスの利用に繋がった。その後、本人の身体機能が低下したため在宅生活が困難となりケアマネジャーの支援のもと施設に入所された。
②	相談概要	ひとり暮らしの本人(女性 90歳代)について、別居の親族からセンターに相談があった。本人は判断能力の低下や被害妄想により、介護保険サービスや親族の支援を拒否。自宅がゴミ屋敷となり、夏でもエアコンを使用せず、傷んだ食品を口にしていた。また、不必要な高額商品を訪問販売で購入するなど金銭管理に課題があった。これまでは主治医や近隣住民の見守りで何とか在宅生活を継続していた。
	対応	センターが家庭訪問して本人と面談。本人は身のまわりのことは出来ていると考えており、当初は支援を拒否していたが、定期的にセンターが家庭訪問を行い、説得することで介護保険認定申請手続き及び宅配弁当、訪問看護サービスの利用を開始した。また、消費生活センターに繋ぎ、訪問販売のクーリングオフを実施。本人の財産を守るため、けんりサポートすいたと連携して、親族による成年後見申立手続を開始した。
	結果	宅配弁当と訪問看護の利用開始により、食事の確保と健康管理を含む見守り体制を整えて本人の安全を確保することができた。その後、認知機能の低下が進行したため在宅生活が困難となり施設に入所した。入所後は被害妄想はなく穏やかに過ごされ、成年後見制度の利用を開始した。

③	相談概要	本人(女性 80歳代)と同居している子(男性 60歳代)の世帯について、本人が利用している介護保険サービス事業者から、本人に対する同居の子の声掛けの口調が強い、世帯の収入は本人の年金だけだと思われるが、同居の子との生活は経済的に厳しいので金銭のやりくりが出来ているか心配であると相談があった。
	対応	センターが家庭訪問し、本人、同居の子、別居の子も含めて面談。本人は元々計画的な金銭管理が難しいため時折生活費のやりくりで困っていた。同居の子は自身の内科疾患の悪化により就労できない状況で預貯金もなく、本人の年金で生活せざるを得なかったことが判明。また、強い口調は本人への攻撃的なものではないことを確認した。経済的問題の解決と同居の子を各種の支援制度に繋げるため障がい者相談支援センター、くらしサポートセンターと連携して子の障害年金の申請や家計の見直しを行った。
	結果	同居の子の病状が悪化したが自宅での生活を強く希望されたため、関係機関の支援を受けて介護保険サービスや医療保険の訪問診療と訪問看護を利用して在宅生活を整えていたが病気により亡くなられた。その後、本人は別居の子の見守りと金銭管理を受けながら介護保険サービスを利用し自宅での生活を継続している。

④	相談概要	通行人が路上で道に迷っていると思われる本人(女性 70歳代)を警察に通報。警察が本人に確認したところ、自宅に戻ることが出来ず徘徊していたため警察が保護した。本人は数年前から同様の徘徊で10数回程度保護されており、その都度、同居の子が本人を迎えに来て自宅に連れて帰っていた。
	対応	本人は認知症の診断があり受診は行っていたが、介護保険サービス等を利用していなかった。同居の子は本人の徘徊を防ぐため介護保険サービス等の利用を考えていたが、本人は昔から誰かの世話にはなりたくないというサービスを拒否するため困っていた。センターから別居の子にも連絡をとって協力を要請し、認知症初期集中支援チームに繋いだ。
	結果	センターと本人の家族が協力し、認知症初期集中支援チームが支援することになった。本人の主治医と連携を図りながら、介護保険サービスを導入し通所介護を利用することになった。継続してサービスの利用は行っているが、その後も定期的な徘徊はあるため、家族や関係機関と相談しながら介護保険サービス等の追加と見守り体制の整備を図っている。

⑤	相談概要	認知症の本人(男性 80歳代)、本人の妻、子の三世帯についてケアマネジャーからセンターに連絡があった。本人と子が口論していたが収まらず、子が本人の首を絞めようとした。慌てた本人の妻が子の行為を止めて仲裁したが、どうしたらよいかと妻からケアマネジャーに相談があった。今まで大きなトラブルはなく、子は積極的に本人の介護を行っていた。
	対応	本人、妻、子に事実確認を行う。夜間に本人が寝ていた子を踏んでしまったことが原因でけんかになり今回の事態に発展したことが判明した。本人は認知機能と身体機能が低下しているが、家族が認知症への理解が少なく、在宅での介護負担が大きい状況であった。センターから、家族に認知症への理解を促すとともに、介護保険サービスの追加や施設入所を提案したところ本人と家族は施設入所を希望された。
	結果	特別養護老人ホーム等への入所までの間のレスパイトケアとして、本人のショートステイの利用回数を増やし、本人と子が離れる時間を増やしたことで、介護負担が軽減し本人と子の関係が落ち着くことができた。その後、本人は介護老人保健施設に入所された。

⑥	相談概要	通所介護利用中の本人(女性 80歳代)の頭部、顔面、背部に複数の打撲痕及び内出血痕があり、頭髪が乱雑に散髪されているとケアマネジャーからセンターに相談があった。ケアマネジャーが同居の子に確認したところ自分がやったと発言した。
	対応	センターがケアマネジャーと家庭訪問して同居の子に確認したところ、本人は認知症状が進行しており、夜間の徘徊があるため介護疲れが著しいことがわかった。本人の主治医に相談し本人はレスパイト入院となる。その間に、同居の子に加えて別居の子と今後の本人の生活について面談を重ねた。同居の子の精神的負担が大きくなっていったため、障がい者相談支援センターへ繋ぎ専門医に受診することになった。
	結果	本人は、別居の子が申し込みした施設へ入所することができた。同居の子は、自立に向けて専門医に通院しながら就労を開始し、障がい者相談支援センターの支援を受けて一人暮らしをしている。本人の金銭管理は成年後見制度の利用を視野に入れて検討している。

⑦	相談概要	ケアマネジャーより、退院したばかりの本人(女性 80歳代)について連絡が入った。本人の介護保険サービス導入後から、同居の子に本人の通帳が盗られたと被害妄想が出現。訪問看護を含む全てのサービスを拒否し、本人の意向に反して止めてしまった。本人は、毎日の医療ケアが必要であったため早急な対応が必要になった。
	対応	センターが本人宅を訪問。子は、介護疲れによる精神的負担が大きいため、通帳の盗難の恐れがなければ、介護サービスを利用したいと述べられた。傾聴後、子の状態が落ち着いたので、本人には毎日の医療ケアが必要であることを説明したところ子は納得された。その場で、本人の救急搬送を要請し医療機関に入院することができた。
	結果	本人の退院後の生活拠点を用意するため別居の子に連絡をとり支援を依頼。センターと医療機関、ケアマネジャーで情報共有しながら役割分担を行い退院後の施設入所が決まった。本人は入所した施設で、医療ケアを受けて穏やかに生活をされている。同居の子は専門医の受診に繋がり治療を受けることができた。

⑧	相談概要	別居の子から本人(女性 90歳代)の相談。同居の家族が本人の介護・世話ができていないようだ。本人の部屋は掃除もされておらず足の踏み場もなく、本人の排泄物が衛生的に処理されず放置されている。本人はそのような環境で10年以上生活し、入浴も数年間していない。整った環境で生活が出来るように施設に入れてあげたい。
	対応	センターから本人に会わせて欲しいと同居の家族に伝えたが訪問を拒否された。別居の子に説得していただき、家庭訪問して本人と面談することができた。本人の部屋は相談内容どおりの状況。同居の家族から、自分は持病があるので介護負担が大きいと訴えがあり、それが本人の部屋の状況に繋がっていた様子。本人に聞き取ると、ここでは生活したくないので出ていきたいと言われる。同居の家族も本人の施設入所に納得されたので施設探しを進めることになった。
	結果	本人は要介護認定されていたが、介護保険サービスは利用していなかった。本人の気持ちどおり施設入所の手続きを進めていたが、入所するのに身体を清潔にする必要があったため訪問入浴介護を利用するようになった。その後、本人が望む施設に入所することができた。

⑨	相談概要	本人(女性 90歳代) 宅から怒鳴り声が聞こえるとセンターに連絡があった。同居の家族が帰宅したと思われる時間帯から怒鳴り声は20~30分程度続く。直近も怒鳴り声が長く聞こえ、物を投げたような「ドン」という音がしてから静かになった。以前は、玄関のドア前に物が置かれ、中からドアが開かないようになっていたこともあった。
	対応	センターが家庭訪問して本人、同居の子と面談。本人の自室はエアコンが故障しており、壁や床も不衛生な状態。別居の子がいるが家事・介護は全て同居の子が担っていた。同居の子は、本人を最後まで家で看たいと希望しているが、介護負担が大きいために怒鳴り声をあげてしまっている。玄関のドア前の障害物は本人の徘徊を防ぐために置いたとのこと。要介護度を見直すことで介護保険サービスの追加や住環境の改善を提案した。
	結果	要介護度が変更されたことにより、訪問介護等の介護保険サービスを追加するとともに本人の住環境を改善。エアコンも取り換えた。また、認知症に対する理解を促すことで本人の行動を制限する行為も解消された。同居の子の介護負担は軽減され、本人への怒鳴り声も聞こえることがなくなった。

⑩	相談概要	本人(女性 90歳代)について、ケアマネジャーからセンターに連絡があった。介護保険サービス事業者が家庭訪問したところ本人の顔に痣を発見。同居の子に確認すると、本人に薬を飲ませようと介助したが本人が薬を吐き出した。服薬が必要にも関わらず拒否したと思い、なんとか飲ませるために顔を叩いてしまったと発言。
	対応	センターが家庭訪問して本人、同居の子と面談。本人は認知症により意思疎通が困難。同居の子は、親子喧嘩であると認識していたが、センターから認知症への適切な関わり方を伝える。同居の子は在宅で本人を介護したいと希望していたが、服薬・食事介助に時間を要することが大きな介護負担となっていることが判明した。
	結果	センターが嚥下専門看護師と同行訪問。嚥下確認、効果的な服薬方法を同居の子に助言。同居の子に対し、介護は1人で抱え込まず、悩んだ時の相談先として、センターがあることを説明。現在は、同居の子の介護負担が軽減され、本人についての心配情報は寄せられていない。

⑪	相談概要	本人(男性 90歳代)が居住する共同住宅の管理会社より、エレベーターがないため、階段を上るのも大変で買い物に困っているようだ。生活できているか心配なので訪問してほしいと依頼が入った。
	対応	センターが管理会社と訪問。本人はねたきりで排泄の処理ができていない状態。本人から聞き取りしたところ長い間満足な食事をとっておらず、体調不良が続いていたが医療機関に10年以上受診したことがない。親族とも20年以上交流がなく、経済的に困窮していた。治療が必要な状態であったため、その場で救急搬送をしようとしたが本人が強く拒否された。
	結果	センターが医療保険サービスの導入を支援して、訪問診療と訪問看護を利用できるようになった。管理会社の協力を得て親族を探したところ判明したので、親族とセンターで医療機関を受診するよう本人を説得。最初は拒否されたが、説得を続けたところ本人が同意されたので入院することができた。退院後は施設に入所された。

⑫	相談概要	本人(女性 80歳代)と子の二人暮らし世帯についてケアマネジャーから連絡があった。認知機能が低下した本人の行動にストレスを受けた子が「本人を叩いた」との発言をした。介護負担の軽減には、現在利用している介護保険サービスだけでは不足していたが、本人が積極的ではなかったため子も利用をためらいサービスの中断があった。
	対応	子は「本人が体調不良の状態家事をしようとしたため止めたが言うことを聞かないので我慢できなくなって叩いた」、「本人が自宅にいと介護負担があるので入院するか施設に入所するように言っても聞き入れないためしんどい」と訴えていたが、本人は在宅生活を強く希望していた。そのうち、本人に末期癌が発見され、子も「自宅で看たい」との意向を示した。センターは本人の主治医やケアマネジャーと連携して、本人の在宅生活の支援を進めた。
	結果	関係機関の寄り添った支援のもと、本人と子は介護保険サービスを増やすことに了承し、安定した医療と介護を受けながら在宅で過ごす時間を持つ事ができたが、癌の進行により自宅での生活が困難となったため本人の治療を優先し、緩和ケア病棟に入院された。

⑬	相談概要	本人(男性 60歳代)について、ケアマネジャーからセンターに相談があった。訪問介護事業所が本人から自宅の清掃を依頼されたが、自宅内が大量の物で溢れていてゴミ屋敷状態。大量の害虫が発生しているため衛生環境が著しく悪化している。本人に介護保険サービス等の提供が必要にも関わらず、現状では困難。清掃事業者に依頼する金銭的余裕も無いため悩んでいるとのこと。
	対応	センターとケアマネジャーで家庭訪問。床は家庭ごみで溢れ足の踏み場もなく、流し台や浴室もごみで埋まっており利用できないため、在宅生活の継続が困難な状態に至っていた。生活環境の整備や介護保険サービス導入のために自宅内の清掃が必要であったが、センターや関係者のみでは不可能であったため、吹田市しあわせネットワークに協力を依頼。構成員に協力を募ったところ16名が集まり、自宅内の清掃にあたることになった。
	結果	本人は掃除を希望しているが、本人が決めた捨てる範囲内では現状を解決できないので、センターが説得したところ本人は思い切った掃除を決断。必要な物を本人に選んでもらい、それ以外の不要な物はしあわせネットワークの構成員で協力して処分した。浴室や流し台も使える状態になり、在宅生活が可能となった。

⑭	相談概要	本人(男性 70歳代)のことで妻から相談。2週間前から、失語症や運動障害などの症状が急激に出現した。医療機関を受診するために妻が車を運転して医療機関の駐車場に到着したところ、本人は自覚症状がないためか受診を激しく拒否した。一度自宅に戻り、脳疾患の疑いがあるため妻が救急車を呼んだが、本人は救急隊員の説得にも応じず拒否した。
	対応	妻から相談を受けたセンターが認知症初期集中支援チームと自宅を訪問。本人を説得したが、頑なに受診を拒否され当日は医療機関を受診できなかった。妻には明日、再度訪問して本人を粘り強く説得することを伝えると同時に、往診可能な専門医に相談することを提案して妻も了承された。
	結果	センターと専門医が訪問して本人に医療機関の受診を説得した。本人は最初は拒否的であったが、専門医の診察と説得により入院することに応じた。入院後は落ち着いて診察を受け症状の原因(脳腫瘍)が判明した。治療を受けたことで症状が安定し現在は在宅生活に戻り介護保険サービスを必要とすることなく自立した生活を送られている。

相談概要	<p>本人(女性 90歳代)は一人暮らし。物盗られ妄想があり「ケアマネジャーや訪問介護職員にお金を盗まれる」と関係機関に頻回に電話をかける。その都度説明するも、支援者が次々に物盗られ妄想の対象に加えられ、福祉用具貸与以外の介護保険サービスが導入できない状況になり、今後の本人の生活をどのように支えるか困っているとケアマネジャーからセンターに相談が入った。</p>
⑮ 対応	<p>ケアマネジャー、民生・児童委員、関係機関と情報共有を行い、本人の安否確認や生活環境の悪化を防ぐためにセンターが本人にアプローチを重ねて関係性を築こうとしていたが、熱中症疑いで入院になった。自宅に戻るか転院するか等をケアマネジャー、医療機関、民生・児童委員、認知症初期集中支援チームなどで協議し、本人の見守り体制を整えるため役割分担を進めた。</p>
結果	<p>本人が退院を強く希望して自宅に戻ったが、入院中に物盗られ妄想が強くなったことにより、退院後は民生・児童委員しか自宅に入れず、本人の安全確認や支援ができない状況となった。そのため、以前に本人と関係が良好であった支援者の協力のもと説得したところ施設の見学を了承された。本人は施設見学をしたところ、自分が望む生活ができると納得してそのまま入所された。</p>

(2) 各地域包括支援センターの活動報告

【吹一・吹六地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議、自立支援型ケアマネジメント会議の活性化を図り、地域課題を把握し、地域住民や関係機関と共有する。 ・地域の公民館や集いの場で「介護予防」、「権利擁護」、「消費者被害」、「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」の出前講座を開催する。 ・医療機関との事例検討会について、企画段階から参加し地域の医療介護の連携を図る。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で困っている案件については、民生児童委員からの相談等により把握し、地域住民、福祉委員、各関係機関等とも共同して対応している。 ・吹一地区では毎月、出前講座を館長とともに企画し、開催している。 ・吹六地区公民館、御旅町自治会館では「人生会議（ACP）」の普及啓発の講座を開催した。エンディングノートと一緒に記入し「人生会議（ACP）」を身近なものとして感じてもらった。その際、救急医療情報キットの申し込みが29件あった。 ・ノルディックウォーキングの会を今年度2回開催し、来年度さらに拡大し、吹一・吹六地区合同での開催の企画を予定している。 ・済生会吹田病院からの院内研修依頼や、在宅とともに考える会（済生会吹田病院主催）の世話人として、企画段階から共同で開催している。今年度は研修を2回開催。

※「人生会議」とは、もしものときのために、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組。

※ノルディックウォーキング…両手に持ったウォーキング用のポールを地面に突きながら歩くスポーツ。ポールを使うことで全身運動となり、効率よく運動ができ、また、膝や腰への負担が軽くなるため、足腰に不安がある方も安心して歩くことができる。

【吹三・東地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者本人のみならず、多世代を含めた家族支援の重要性を踏まえ、有効な制度や社会資源の情報収集と活用に努める。また、関係機関と協働し、本人・家族を継続的に支援できる体制づくりを推進し、多世代への家族支援と連携体制を構築する。 ・高齢者が希望や役割を持ち、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう環境づくりに協力する。また、認知症地域支援推進員と連携し、<u>チームオレンジ</u>の立ち上げ支援を通じて地域とのつながりを強化し、認知症の有無に関わらず住み慣れた町で暮らせる地域づくりに取組む。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスや児童虐待に関する研修等へ参加し、多世代への支援に必要な制度等の知識を深めた。また、多世代交流イベント等への参加や地域住民向けの「人生会議」についての講座を通して、多世代に地域包括支援センターの周知を図った。 ・介護フェアや昼食会等へ参加し、地域住民と接点を持ちながら認知症への正しい理解促進に努めた。また、<u>認知症カフェ</u>での意見交換や地域住民との交流を通じて、本人の思いを尊重する地域づくりの視点を共有した。コミュニティカフェや事業所とも連携を深め、<u>チームオレンジ</u>活動の理解促進に努めた。

※認知症カフェ…認知症の人やその家族が、地域の人や医療・介護の専門職と、悩みや情報を共有するなど、気軽に集まって話ができる交流の場。

※チームオレンジ…地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ研修を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

【片山地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業を見据え、複合的課題を抱える世帯への対応について、関係機関との連携を強化する。若年層の家族にも気軽に相談できる機関という認識を持ってもらえるよう、地域の社会資源を活用して出張相談会を開催する。 ・地域の社会資源の把握に努め、高齢者の自立支援に繋がる地域資源の活用や、新たな社会資源の創出を目指す。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・複合的課題を抱える世帯についての事例検討会を7月に開催し、関係機関との連携強化と課題解決に努めた。 ・山手地区公民館、片山地区公民館で開催されている「ふれあい昼食会」に定期的に参加し、地域の高齢者に対して周知活動を行った。 ・各地域の公民館、高齢クラブ、健都ライブラリーなどで介護保険、介護予防、熱中症予防、認知症予防などに関する出前講座を開催した。9月にはUR千里コミュニティ千里住まいセンター、吹田市危機管理室及び福祉総務室と連携して片山公園団地にて防災についての講座を開催。団地住民だけでなく、近隣住民も参加し、災害について考え、備えていただく機会となった。

【岸部地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を実施するにあたり、地域の一般企業と連携・協働することで、多世代・多機関とのネットワークの構築に取り組む。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期は重点取組の準備期間として、計画立案や打ち合わせ・会議に時間を割いた。その結果、多機関（障がい者相談支援センター、障がい者デイサービス、大阪信用金庫、人権協会など）協働の福祉フェア（名称：きしベース）を下半期（11月）に開催することになった。 ・横のつながりを深めるため、事業所職員を対象にしたモルック大会（名称：みんなdeモルック）の開催も企画し、下半期（11月）に開催することになった。

※モルック…モルックと呼ばれる木製の棒を投げピンを倒して点数を競うスポーツ。ルールがシンプルで、老若男女問わず気軽に楽しめるユニバーサルスポーツ。体と頭の運動になるため、介護予防にもなる。

【南吹田地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・吹二地区では、地域検討会を通じて地域住民、民生児童委員、福祉委員、事業所と合同で、「高齢者の活動について」検討・企画する。吹田南地区は、<u>生活支援コーディネーター</u>と連携し地域への働きかけを行い、地域検討会の立ち上げを目指す。 ・地域住民、民生・児童委員、福祉委員との連携を深め、地域からの出前講座の依頼に対応する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・吹二地区の「高齢者の活動を考える会」に参画。複数の高齢クラブ代表者が減っていく中、下半期に向けて、今後どのような活動内容とするか検討した。 ・吹田南地区公民館から、下半期の講座について、人生会議をテーマとした連続講座の依頼を受け、内容を企画した。 ・圏域内の4か所の認知症カフェを地域の事業所の協力のもと毎月開催し、地域の当事者、高齢者の交流の場を設けた。

※生活支援コーディネーター…日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅で健やかに安心・安全に住み続けられる地域づくりのため、生活支援の担い手の養成やサービス開発等の資源調整、サービス提供主体等の関係者のネットワーク構築を進める役割を担う。

【豊津・江坂地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する取組において、チームオレンジを立ち上げ、豊津・江坂地域包括支援センター独自の<u>認知症ケアパス</u>を作成し、認知症高齢者の早期発見・介入・治療・家族支援につなげる。 ・地域活動において、高齢者だけでなく、多世代が交流できる出前講座や交流の場を作り上げていく。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターブロック別交流会を開催し、継続的に交流しながら、認知症カフェでの活動（当事者・家族とのお話、紙芝居披露等）を中心に実施している。現在の活動グループの名称を、「オレンジ笑咲花（えさか）」に決定した。今後、オレンジ笑咲花（えさか）の活動がチームオレンジの活動へ移行できないか話し合い、チームオレンジの立ち上げを目指す。また、豊津・江坂独自の<u>認知症ケアパス</u>作成も併せて目指す。 ・豊津西地区の介護保険サービス事業所、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とともに高齢者の現状や生活課題等を考える意見交換会を開催。保育園児との交流、移動スーパー、飲酒可能なBARレクリエーション等を開催している事業所があり、高齢者を含めた世代間交流を行うことができないか検討している。

※認知症ケアパス…「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」をまとめたもの

【千里山東・佐井寺地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業の主旨を踏まえ、連携を深めるため、今まで以上に多職種と連携し、高齢者の支援に努める。 ・「チームオレンジ」の活動が継続したものとなるように、メンバーとの話し合いを重ね様々な活動に取り組む。 ・既存の地域活動においても引き続き自主グループ化に向けた取り組みを行う。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の都合により、「介護者家族のつどい」と「すまいるカフェ」を合同で開催することになった。大学のボランティアグループによる落語、福祉用具についての勉強会、フィットネスなどの催しを交えながら交流を行っている。 ・男性だけの集まり「ピンコロかい」は、2か月に1度継続した開催ができています。今年度は、佐井寺の歴史を皆で学んだ後に街並みを散策したり、ウェルネスグッズを参加者で競い合っていて楽しんでいるが、男性参加者がなかなか増えないため、催し内容を工夫したり、声掛けを行い、参加人数を増やすようしている。

【千里山西地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・元気高齢者を増やし、地域で継続して暮らせるように、センターの周知及び啓発、出前講座、介護予防事業の普及、地域住民の活動を支援する。 ・センターで取り組む事業を総合的にとらえ、圏域内の介護保険サービス事業所・地域の団体と協力しながら 地域包括ケアシステムの構築を目指す。 ・認知症の人とその家族と地域住民の橋渡しとなるようなチームオレンジの立ち上げを支援する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区福祉委員会議、地域活動（春日地区祭り、敬老会）の参加を通じて、センターの周知を図った。周知により、出前講座の依頼も増え、特に介護予防事業について話を行うことが多く、元気高齢者を増やすための取り組みができた。 ・前年度、施設見学ツアーを行ったことがきっかけとなり、地域の方から施設について知りたいと声があがった。福祉委員主催のサロンにて、地域検討会を行った結果、圏域内にある施設に協力をいただき施設説明会を実施した。地域住民、介護保険サービス事業所と協力しながら、地域にある施設という社会資源を知ることで、いつまでも安心して暮らす地域作りのきっかけになった。

【亥の子谷地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活把握、分析を行い地域生活課題を抽出する。 ・認知症の人のための地域づくりを推進する。 ・出前講座、地域包括支援センター便り、はつらつ元気手帳などを通して介護予防や健康増進、防災に関する情報について発信する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活状況、地域のニーズを把握するため、亥の子谷地域でアンケートを実施した。(実施期間5月～7月) ・ふれあい昼食会にて認知症についての講座、出前講座にて認知症サポーター養成講座を行った。 ・7月山五地区公民館で行ったアンケートから抽出したニーズを元に「福祉用具・住宅改修」に関する学習会を開催した。 ・防災便り、防災情報掲載の地域包括センター便りを配布し、防災についての啓発活動を行った。

※はつらつ元気手帳…介護予防手帳の本市での名称。心身の健康に配慮した生活を送りながら、自分だけで難しいことは支援・サービスを選択して利用する「セルフマネジメント」のためのツール。

【山田地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の集いの場へ積極的に参加し、地域包括支援センター便りの発行や相談会、出前講座を通じてセンターの周知に努める。 ・住民主体の介護予防活動を継続的に支援し、いきいき百歳体操の活動グループやひろばde体操の拠点の更なる増加を目指す。 ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）や地域住民、関係者とともに課題共有や地域検討を行い、認知症の啓発や地域づくりに取り組む。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター便りにて、介護予防や各種講座の案内、「地域の顔（地域住民の暮らし）」の紹介コーナーを設け、継続的に発行している。相談会は山田出張所にて初開催できた。 ・山一地区の山一地区公民館や山田公園（伊射奈岐神社横）にて、誰でも参加できる介護予防の拠点ができた。また、いきいき百歳体操のマップを作成・配布し、相談に役立てている。 ・認知症当事者のための「歩こう会」の継続開催に、認知症サポーター等と事前に話し合っ実施した。山一地区地域検討会では、昨年同様スマホ講座や山一スタンプラリーの開催に向けて議論した。北山田地区においても地域検討会の開催を検討した。

【千里丘地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・センター職員の人材育成・定着に努める。 ・地域に根差したセンターを目指し地域住民への周知を継続する。 ・地域課題を抽出し課題に即した活動を行い高齢者及びその支援者がその人らしい生活ができる地域を目指す。 ・人生会議（ACP）の普及啓発を継続しながら更なる多職種連携強化を図る。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター交流会の継続開催、認知症サポーターの活動支援。 ・出前講座の開催。 ・山二・東山田地区地域検討会に参加し地域課題の明確化・解決に向けて検討中。 ・防災の作業部会を発足しチラシを作成（2部）。 ・定期的に医療機関（病院）との意見交換会を実施。 ・社会福祉協議会とともにマンション単位でスマホ講座を実施。

【桃山台・竹見台地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座年4回実施。地域のニーズに合わせた講座を持ち、地域の人とのつながりを強化する。 ・小学校を対象とした認知症サポーター講座を開催し、幅広い層の理解を深める。 ・URと連携し、竹見台地区で認知症カフェを開催する。また、チームオレンジの設置育成を行う。 ・いきいき百歳体操の場に出向き、警察と連携して詐欺被害防止の啓発を実施する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に出前講座や窓口来所者へ実施したアンケート結果に基づく内容で上半期に4回の出前講座を実施。 ・竹見台中学校にて認知症サポーター養成講座実施。桃山台小学校でも実施予定。 ・新たに認知症カフェが1か所開設。桃山台・竹見台地域にてチームオレンジを立ち上げた。 ・いきいき百歳体操自主グループの活動会場7か所にて、警察と連携した詐欺防止呼びかけを実施。

【佐竹台・高野台地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症総合支援事業について、認知症の人や家族の声を踏まえ、地域住民や事業所、認知症初期集中支援チームと協力して、適切な医療・介護に繋げる。 ・権利擁護事業について、地域において安心して生活が続けられるよう、関係機関と連携を図りながら、支援を行う。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の認知症の症状から家族関係に問題が生じた方に対して認知症初期集中支援チームと協力して適切な医療や介護サービスへ繋げ、認知症になっても住み慣れた地域で生活ができるよう市民や各事業所と情報共有しながら対応した。 ・警察や民生児童委員、福祉委員、吹田市危機管理室等と協力し、定例の食事会や地域行事に参加して、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起や必要な情報提供を行った。

【古江台・青山台地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も引き続き、地域検討会等を継続し、他機関とのネットワーク構築の強化や地域のニーズ調査を実施する。 ・世代を超えた交流の機会がもてる地域づくりの方法を検討する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見交流会で、移動販売のイベントを開催し、買い物のニーズ調査を行った。その結果をもとに検討し、今後の方針を決めていく予定。 ・世代を超えて誰もが参加できるイベントを開催し（社会福祉協議会、まちなかりビング共催）、窓口の周知・支援者間の連携を強化・地域住民の交流の場を提供した。

【津雲台・藤白台地域包括支援センター】

7年度の重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係諸団体とともに地域住民に向けた介護・認知症予防の普及啓発に取り組む。 ・千里ニュータウン・万博・阪大地域の他の地域包括支援センターや諸団体と協力し、認知症サポーターの活動の場や認知症カフェの拡充など、認知症に関する活動を継続して幅広く続ける。 ・高齢者、障がい者、子ども等の世代や属性に拘らない、みんなが楽しめるバリアフリーイベントを関係諸団体と協働で開催する。
地区活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藤白台校区で福祉委員、民生児童委員や圏域の介護や医療の事業所と協働で、健康チェック健康相談会を開催した。多くの人に参加いただいたことは元より関係団体の横のつながりがあることを体感してもらうことができた。 ・認知症サポーター交流会の開催や、複数の認知症カフェが保育園児と交流する活動が継続できており、幅広く認知症に関する活動が拡充できている。 ・8月に古江台・青山台地域包括支援センターや社会福祉協議会等の関係団体と共催し「北千里みんなでフェスタ」を開催した。高齢者から小さい子供まで幅広く参加があり、福祉を考える場になったのではないかとと思う。